

明治三十二年十一月

本曜島通信新聞記事ニ付在クウシク
ツギール領島領事ト訓令ト件

7-0035

0067

明治三十一年十一月廿二日起草
同 八年八月十九日發遣

通商局長

親友
長

立多包
飯島
大島

昨今本曜島より通信ナリトテ別紙
切抜ト略目格ノ事概府下ノ各
新聞ニ掲載有テ左ノ事

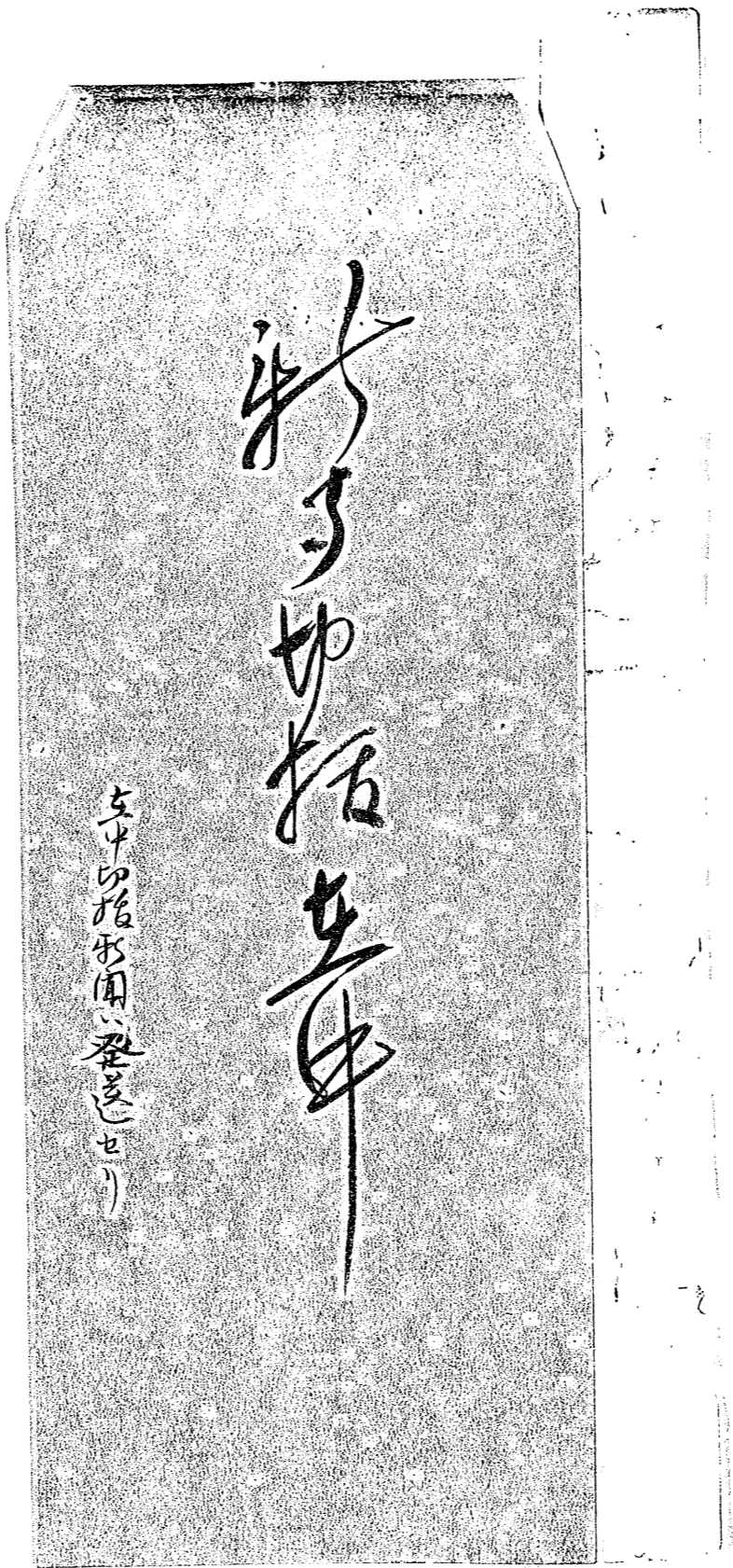
外務省

實ト符合致居哉若事實別
紙ニ有テ然レテ朱線ヲ引キ
ルニ即ニ帝國政府ノ高等政界
ニ關係スル事ナレバ領事トシテ
何言ニモ甚ク不穩事トモ認メ
當時之ヲヤウナリ人々ニ對シ
未消ホウニ得又本曜島並ニ
邦人間ニ多少厭忌スル弊風



下にせよ又角を以て政府が之に對せん
 處を以て條約、表面より抗議す
 産んば中理由十年とせよ我人民の素
 海外に在りて右等ノ困難ニ遭
 遇せんコトナレバ老幼者トシテ出
 來得ん限、救済ノ途ヲ講ず
 必や中かん義ニ以て台在る念ノ上
 將來は波字ノ苦情ニ充て聽ん
 り若し謬見ノ懷クモアハシバ之ニ説
 明し其ノ其事情時ニ由詳報
 本友友共其ノ旨ヲ示す也

別紙 本報に日人會ト題せん切板
 新字貼付、上巻者ノコト



7-0035

0070

第三卷 第七九
三月二十二日接受 菅通商(杉村)

機密第一號

在木曜島日本人會員ト會談

二件

先般本官が赴任、遂に本曜島ニ於テ日本人會員ト會見候様願末、聞シ昨三十五年十月二十九日附機密
 送第一二號ヲ以テ毎日新聞切抜相添、續々御訓示
 相添候様候右新聞切抜記載、軍項件ニ其實
 ト相違セル處斷方又特、朱線ヲ以テ御注意相成候
 一節、如キハ本官カ日本人會長佐藤序次郎、過激論
 ヲ及駁シテ議論件ニ述ベテ意見ヲ記載セルモノト被
 存候其前後、部分ヲ省略シテ載セザルカ故、帝國政
 府、政界カ、此言及候様相見、候ハ本官、甚
 外遺憾トスル所、有之候得共、實ハ右佐藤序次郎
 府、對外交策ヲ痛罵シ日本政府ハ空多英、トラ
 ニスハール、加、多々筆鋒ヲ踏襲シ、軍艦ヲ派遣
 シテラ、南洋政府ヲ威嚇ス、ト論シ候事、之ヲ及駁
 スル為ノ東洋多事、今日如何トテ、強邦ト隣ヲ
 生ス、トアルヤモ、難計ニ付、凶降臨、過激手段ヲ執リテ
 彼ノ感情ヲ害スル、不利ナリ、南洋トシテ、交渉困難ニ相
 牽ナキモ、南東協、前ナキニアラ、軍艦ノ力ヲ借リテ必
 喝ヲ加、シトスルカキ、輕煖ノ言ヲ弄ス、カ、ト述ベテ他
 會員、諒解ヲ求キ、先次第一有之且、前顯ニ問答
 タルヤ、酒宴、席、於テ同胞間、起リ、多々、テ、双方
 之、語氣稍、穏カナラザリ、ニ、相違、魚之、假得、兵法、ニ、新
 聞紙記載、如ク、溢リ、冷淡不稽、言辭、ヲ、同胞、加
 之、名譽、損、テ、重之、該記事、件、中、傷的、筆鋒、相

見、候、恩情上、行違、身稿者、故、意、強、報、ヲ、傳
、タ、ル、モ、可、有、之、材、ヲ、何、ル、好、時、機、ヲ、見、計、シ、シ、候、等、ノ
誤、解、ヲ、釋、シ、キ、標、相、備、指、置、不、計、可、申、候、方、辨
明、席、申、進、候、故、具

明治三十三年一月十二日

在、タ、ウ、ニ、ウ、サ、ル、ル

領事 飯島 廉太郎



外務大臣 青木 周蔵 殿

在、タ、ウ、ニ、ウ、サ、ル、ル 日本領事館